

校区単位健康まちづくりにおける 中央区の活動について

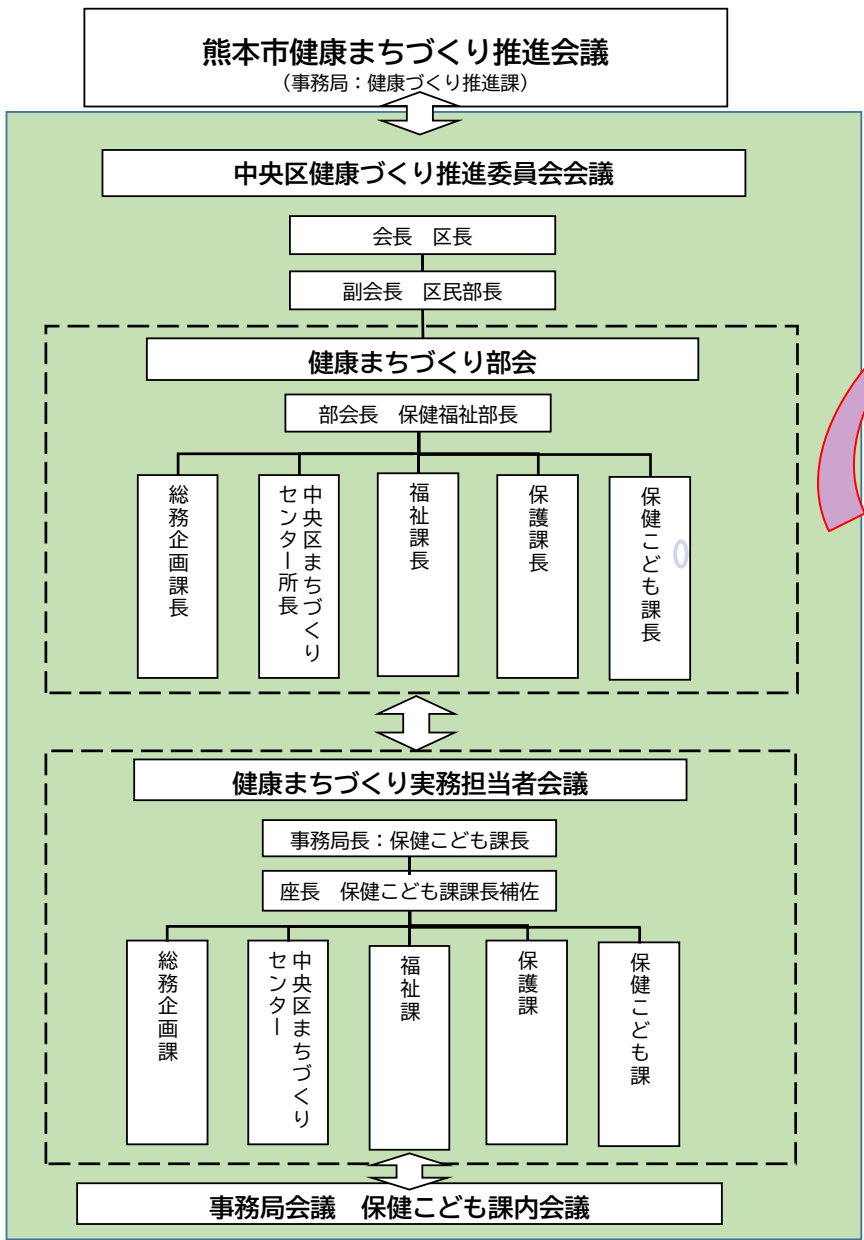
H24年度（2012年度）から
個人が健康づくりを実践継続できるよう、地域コミュニティへ働きかけ、住民と協働で取り組みができる仕組みづくりをめざす「市民との協働による健康づくりをテーマとしたまちづくり」を全市・全庁的に取り組むもので、R6年度（2024年）から第2期となりました。

「全ての市民が生涯を通じて、住み慣れた地域でいきいきと暮らせる持続可能なまちの実現」を目指し、次の方法で推進しています。

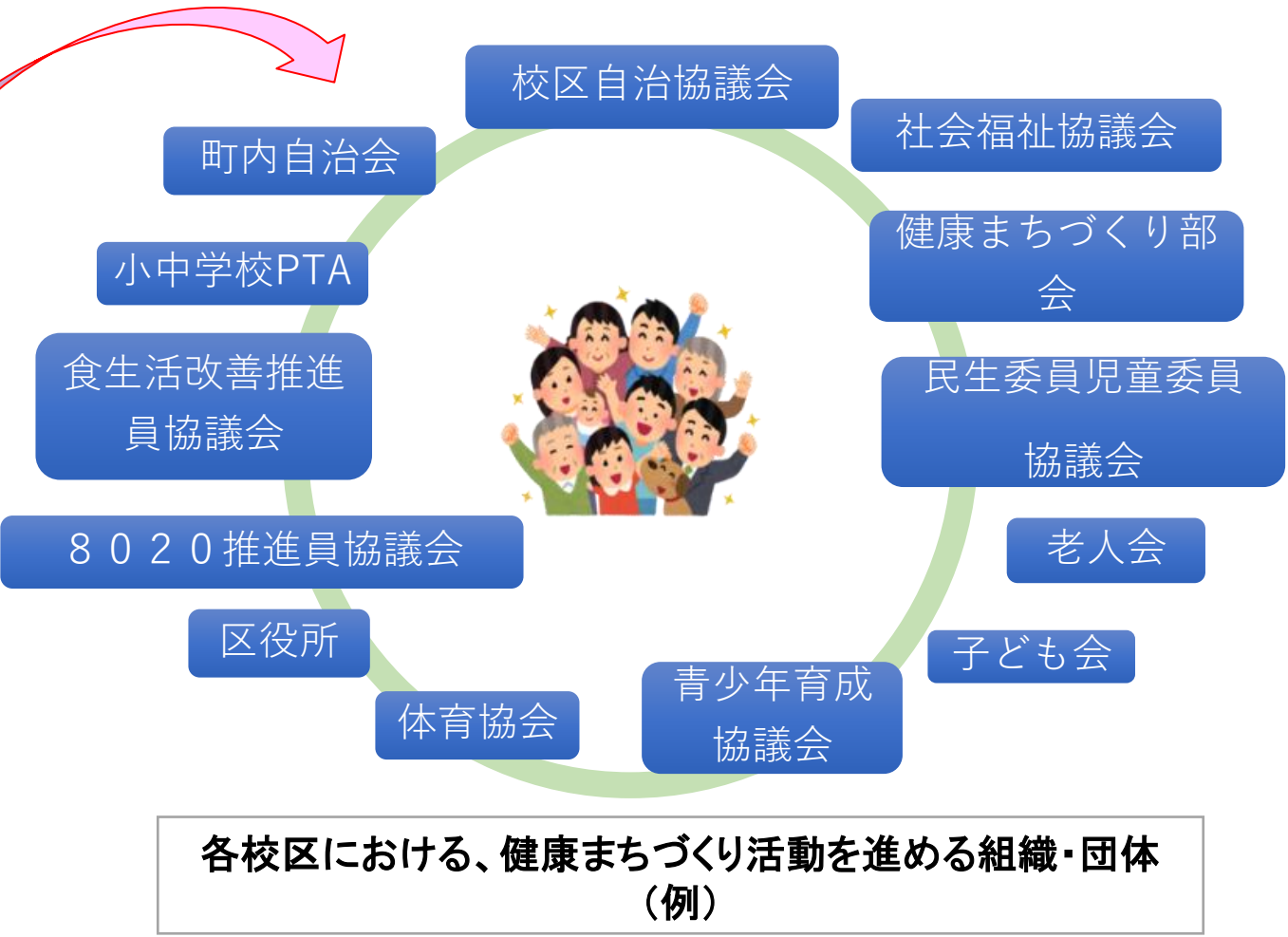
- 1）区ごとの推進
- 2）小学校区単位での活動展開
- 3）多様な実施主体との連携
- 4）全庁的推進

2 中央区推進体制について

推進体制【令和6年度(2024年度)～令和17年度(2034年度)】



地域イベント等に健康の視点を取り入れ、誰もが楽しみながら積極的に参加できる取組を協働で企画するなど、地域のコミュニティづくりと一体となった事業を展開する



3 中央区の課題と取り組みの方向性

- 子育て世代や高齢者等の孤立化
- すこやかでいきいきと暮らしていると感じる市民の割合が5区で最下位
- 若い世代の地域活動への参加が少なく、地域活動の担い手不足
- 特定健診、がん検診の受診率が低い
- 血糖値異常者が増加傾向、脂質異常者の割合が高い

- 子育て支援や高齢者の見守り等既存のネットワークを活用し、健康課題を共有しながら、課題解決に向けた取り組みを推進する
- 学校行事やPTA活動など学校保健分野に積極的に働きかけることにより、若い世代の健康課題を共有し、課題解決に取り組む
- 住民・企業・事業者・ボランティア・学生と行政との市民協働の健康まちづくりに取り組む

4 令和6年度 中央区健康まちづくり

- 地域における会議やイベントでの啓発をきっかけに、地域組織との協働で校区単位の健康まちづくり活動を展開することができた。
- 小学校等の養護教諭と働きかけ、学校保健分野と地域の健康課題を共有し、児童に生活習慣病予防について伝えることができた。
- 大学へ働きかけ、若い世代の健康づくりのためのワークショップを行い、参加者自身の健康づくりへの関心を高める機会になった。
- 防災食育パッククッキング動画を作成しYouTubeで情報発信を行うなど、SNS等での情報発信について取り組むことができた。
- 区役所内の関係各課と連携し、会議や研修を行うことで、活動の共有ができ、地域組織とのつながりが増えた。

区内で連携し、校区単位の健康まちづくり活動を展開していくことで、健康づくりを支援する人・組織・きっかけをつくることができる

5－1 令和7年度 各課の取り組み

総務企画課

- 避難所担当職員において健康まちづくりに関する情報共有を図る
- 市政だよりや中央区Instagramを活用して情報発信を行う

まちづくりセンター

- 「地域と企業等を結ぶ応援事業」にあたり各課と連携
- 中央区Instagramを活用し、情報発信する
- 地域住民と在住外国人の円滑なコミュニケーションが図れるよう、地域組織と大学生や在住外国人の交流の機会を創出する

5-2 令和7年度 各課の取り組み

福祉課

- 福祉課が所管する会議（地域包括ケアシステム推進会議等）に、関連する他課の取り組みを紹介する機会を作り、市民と共に市の課題を共有し考えるきっかけを作る。
- 福祉課の各職員が担当する業務に関連する庁内各課の取り組みについて、積極的に把握する意識を高めあえるよう、知り得た情報を課内職員で積極的に共有する。
- ささえりあや障がい者支援センターと連携し、ケース対応や集団への支援の際に特定健診やその他の健康に関する情報提供を行う。

保護課

- 特定健診（生保者）や「節目年齢歯科健診」の受診勧奨。
- 特定健診（生保者）結果が指導が必要な方について、引き続き保健こども課と連携を図り保健指導に繋げていく。
- 特定健診（生保者）結果より要医療レベルでありながら未治療の方への病院受診について、引き続き保健こども課と連携を図り、指導を行うことで、重症化予防を行っていく。

5-3 令和7年度 各課の取り組み

保健こども課

- 健康まちづくり部会、健康まちづくり実務担当者会議を開催する。
- 校区単位の実情に応じた、各会議や子育てサークル、高齢者サロン等の既存のネットワークを活用し、情報発信を行い、健康づくりの意識向上を図る。
- 学校保健分野に働きかけ、若い世代の健康課題を共有し、課題解決に取り組む。
- 健康づくりボランティア（食生活改善推進員・8020推進員等）と協働で健康づくり活動を行い、活動の周知を図り担い手の養成につなげる。
- 学校、企業、ボランティア（食生活改善推進員・8020推進員・けんつく会等）、住民と協働で健康づくりに関する啓発を実施（イオン、メディメッセ桜十字等）する。
- まちづくりセンター校区担当職員と連携し、地域との健康課題の共有や課題解決に向けた取り組みを一緒に行う。
- 企業や大学との連携や動画作成を行い、中央区InstagramやYouTube等のSNSを活用し、若者に向けた情報発信を行う。

区の目標

地域や仲間と支えあいつながりながら、生涯をこころ豊かに健康でいきいきと安心して暮らせるまちをつくる

熊本市健康まちづくり活動方針（第2期）より

今年度も庁内各課と連携し、
事業を推進していきますので、ご協力をお願いします。